

## 気候情報

### 2015年12月の日本の天候

- 全国的に気温がかなり高く、日本海側の降雪量はかなり少なかった
- ほぼ全国的に降水量が多く、西日本ではかなり多かった

#### 12月の天気概況

日本付近は冬型の気圧配置が長続きせず、低気圧や前線の影響を受けやすかった。寒気の南下が弱く、気温の高い日が続いたため、全国的に月平均気温がかなり高く、日本海側の降雪量はかなり少なかった。特に東日本の月平均気温は平年差+1.9°Cで、12月として1位の高温（統計開始1946年）となった。また、西日本太平洋側の月降水量は平年比279%で、12月として1位の多雨（統計開始1946年）となった。

**上旬：**日本付近は低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。10日には東シナ海の低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、西日本太平洋側や沖縄・奄美では大雨となった。沖縄・奄美では、旬降水量平年比が453%で12月上旬としては1位の多雨（統計開始1961年）となるなど、この時期としては記録的な大雨となった。

旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、北・東・西日本で高かった。

旬降水量は、西日本と沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。北日本太平洋側と東日本では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり少なかった。一方、東日本日本海側で多かった。北・西日本と東日本太平洋側では平年並だった。

**中旬：**旬の中頃にかけて低気圧や前線の影響で曇りや雨となり、気温の高い日が多かった。特に11日は低気圧が発達しながら本州上を東に進み、暖かく湿った空気が流れ込んだため、東・西日本では大雨となった。また、南風が強まった東・西日本太平洋側を中心に12月としては記録的な高温となり、尾鷲（三重県）では最高気温が25.6°Cとなるなど夏日となった所もあった。また、15日から16日にかけては低気圧が日本海から北日本へと進み、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだため、北・東日本を中心に気温が上昇した。北・東日本の旬平均気温平年差はそれぞれ+3.4°C、+3.3°Cとなり、いずれも12月中旬として1位の高温（統計開始1961年）となった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北・東・西日本太平洋側でかなり多く、東・西日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。北日本日本海側は平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側で多かった。一方、東日本太平洋側と西日本で少なかった。東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

**下旬：**旬の前半は低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変わったが、旬の後半は冬型の気圧配置が続き、日本海側では曇りや雪または雨、太平洋側では晴れの日が多かった。特に26日から28日にかけては冬型の気圧配置が強まって北から寒気が流れ込み、北日本日本海側を中心に暴風雪や大雪となった。

旬平均気温は、東日本と沖縄・奄美でかなり高く、西日本で高かった。北日本は平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側と西日本で多かった。一方、北日本太平洋側では少なかった。東日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北・西日本太平洋側で多かった。一方、東日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。北・西日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

#### 12月の気候統計

**月平均気温：**全国的にかなり高かった。

**月降水量：**西日本でかなり多く、北・東日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。北・東日本日本海側では平年並だった。

**月間日照時間：**北日本と東日本日本海側で多かった。沖縄・奄美ではかなり少なく、東日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった。西日本太平洋側では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

#### 12月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（°C）  
横浜 10.1 名古屋 9.3 など19か所
- ・月降水量多い方から（mm）  
山口 127.5 高松 110.5 など8か所

#### 2015年12月の平年差（比）図

